

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(職員用)

公表:令和3年2月4日

事業所名 みらい

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7		適切なスペースを確保しています。感染症対策に対応した使い方をしています。
	2	職員の配置数は適切である	7		看護師、保育士、児童指導員の資格を持った職員が配置されています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7		バリアフリー化され、感染症対策でマットをフローリングに張り替えました。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7		利用者様個々に個別支援計画において目標をたて、支援を行い評価し改善を職員と相談し実施しています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7		ホームページ上で年一回公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		7	第三者による外部評価は行っていません。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7		
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7		保護者様からのニーズに対応し事業所内で検討し計画を作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7		東京福祉大学の先生の指導の元、太田ステージを使用し、支援に活かしています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7		毎日の活動内容は事業所内で検討し行っています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	7		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7		毎日送迎前にミーティングを行い、前日の振り返り、その日の支援の内容や役割分担等、確認しています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7		〃

	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7		毎日、日誌、連絡ノート等で記録をし、必要な事項は個々に支援記録に記入し、その後の支援に活かしている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7		半年ごとにモニタリングを行い計画の見直しを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	7		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7		学校送迎時、担当者会議等で情報共有を行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	7		利用者様の主治医と直接連絡体制を整えてはいませんが、医療的ケアの必要な利用者様は保護者を通して、主治医より「健康管理による調査票」の提出を依頼し、安全にケアができる様にしています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7		相談支援事業所から、就学前に利用されていた施設での状況は伝えられる事で情報共有ができています。利用前の担当者会議で情報共有をされる場合もあります。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	7		卒業後利用される事業より求められた時は保護者の了解のもと、情報を提供します。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7		特に、普段は行っていません。連携が必要であれば行っていききたいと思います。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	7		障害のお子さんと交流する機会は特に設けてない
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	7		法人職員が参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7		送迎時にその日の様子をお伝えし状況を共有しています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	7		以前に実施したことはあるが、現在ペアレント・トレーニングは行ってない、希望や必要があれば、感染症対策を行って実施していきたいと思います。
保護	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7		相談に応じて対応させていただいています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	7		7 保護者会等の支援は行っていません。

者への説明責任等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7		
	35	個人情報に十分注意している	7		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	7		毎年秋に感謝祭を行い、地域の方を招待するなどをしてきたが、今年度は感染症拡大予防の為に中止させていただきました。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7		マニュアルは策定し、職員間では周知されていて、保護者の方には随時説明させていただいています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7		年2回の避難訓練を行っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7		毎年、法人で職員に対し虐待防止の研修を行い、全員が受け、適切な対応を行っています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7		医師からの指示書はいただいいてませんが、食物アレルギーのある利用者様については、保護者の方よりお聞きし対応しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7		